

震災関連死は生ませない!! 鳥取県中部地震 鳥取民医連・鳥取医療生協 合同対策本部ニュース

2016年11月2日

vol.12

発行元：鳥取民医連・鳥取医療生協
中部地震合同対策本部
連絡先：0857-24-6161

2日18時現在
被害・避難状況

◆人的被害 21人(重傷4、軽傷17) ◆住民避難 201人、
◆住宅被害 9,227棟(全壊2、半壊3、一部破損9,222) ◆公共土木施設被害 131カ所

住宅倒壊危険家屋からの強制避難住民の 避難所訪問で実態が明らかに!!

先週末、全国支援を受けながら行った集中訪問行動を通じて、行政が公にしている避難所の一つが見つかりました。オレンジジャックで訪問していた行動隊を見つけて、公民館長が声をかけてきた地域。高台とその斜面に建設された住宅の新しい集落の人たちが、斜面の崩落の危険性から、行政の指示で強制的に農村多目的集会所に避難しているというもの。

公式な集会所としてはHPなどにも載っておらず、行政からは支援の弁当と毛布など、最低限の支援物資しか届いていません。幼い子供から高校生なども多く、比較的若い世帯など13世帯が避難してきています。プライバシーの確保、お風呂の問題などもありそうです。特に食事は毎食、子どもから大人まで同じ幕の内弁当で、すぐに箸をつける人が少なくなってしまうそうです。

先週の訪問隊からの連絡後、直ちに公民館長と連絡を取り、11/1の夕方から、看護師2名、事務2名で訪問。館長からお話を伺い、避難されている人たちと懇談しました。子供たちも大人も咳や鼻水などの感染症症状が出始めています。事前に聞いていたため、子供用マスクを届け、換気、手洗い、うがいなどの指導などを行いました。大人用マスクも要請されています。暖かい食事を提供するための炊き出し手配など、公民館長が孤軍奮闘でお世話をしており、館長自身の健康状態も懸念されます。11/2にも栄養士、セラピスト、事務で再訪問し、明日の集中行動時にお昼用の豚汁をお届けすることを約束しました。

また、高台の「赤紙」が張られている家には、避難せずにいる高齢者夫婦もおられるとのこと。引き続きかわりを持ちながら、可能な支援を行うとともに、行政的支援を届けるための援助が必要となっています。

岡山民医連事業協同組合寄贈のシップ 訪問活動で大好評!!

岡山民医連事業協さんがシップを送っていただきました。前回の集中行動時から大好評で、避難所訪問、組合員訪問でも配っています。残りもわずかになってきましたが、今週末、追加分が届くとのこと。送られたシップは今後



11/3 集中行動第二弾 県連別参加予定数

岡山8 島根16
広島7 香川3
愛媛9 京都7
兵庫16 大阪13
◆他県連合計79名
◆鳥取県連35名
◆訪問者合計114名
★事務局含む130名!!



↑ごはんと揚げ物メインのお弁当と菓子パン。カップみそ汁。三食ほぼ同じ内容。

11/2 夕方避難所訪問

11/2 もりハスタッフ、栄養士などが避難所訪問。広い体育館に10人程度の高齢者が。体調の悪い方も。どんどん避難者がいなくなる中で取り残された孤独感が広がっている様子です。



炊き出し準備に電話掛け、地図落としと組合員大奮闘

総勢100名を超える11/3の集中行動に向け、2日は、組合員さんも、炊き出し準備、地図落としと奮闘しました。賑やかに野菜を調理するベテラン主婦のみなさんや、ルーペ片手に地図落としに奮闘される元理事さん、電話掛けに頑張る元師長さんなど、心ひとつに大奮闘です。

